

令和6年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	④	学校名	奈良東養護学校
----	---	-----	---------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	(1) 憩いの場整備プロジェクト (2) 日本文化（茶道）を体験しよう
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	(1) 高等部におけるしごと（農業）の授業において、地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。 (2) 高等部の教科である合科（社会）において、日本の伝統文化である茶道を経験し、「もてなし」や「作法」を学習する。我が国や郷土の伝統や文化に触れ、それを継承・発展させることを目的とする。
連携・協働相手	(1) 奈良東応援団（六条自治会・七条自治会の有志の方） (2) 奈良東応援団
地域と共有している目標・課題等	(1) 学校敷地が広大であり、地域の福祉避難所としても指定されているため、日頃から校内の施設整備について地域の方が意識を向けておられる。その中で、以前から敷地の雑草が問題となっているため、植樹をきっかけに雑草が生えるのを防ぎ、美観を維持することを目的とする。 (2) 地域との連携・協働の機会の増加、本校教育活動についての理解啓発を目指し「細く、長く、無理なく、楽しく」をキャッチフレーズとして掲げて協働活動に取り組むこと。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
(1) 地域の方と一緒に除草作業し、植樹を計画する。具体的には、農園の一角の傾斜地を除草し、防草シートを敷き、果樹木を植樹した。そして、果樹が実った際には、地域の方と一緒に収穫を祝った。 (2) 奈良東応援団に、合科の授業へ参加していただき、連携・協働体制を取り、地域の方の得意な分野について教えてもらいながら交流を深めた。このことで伝える側である地域の方に生きる喜びを感じていただくとともに、生徒が興味をもって学んだ。	

2. 事業の成果と課題

<p>奈良東応援団の活動が教職員や生徒の中にも浸透してきており、もっと自由に校内で活動してもらってはどうかという意見も聞かれるようになった。奈良東応援団の方がいるのが当たり前という雰囲気は今後作っていきたいと思っている。</p> <p>(1) 憩いの場整備プロジェクト</p> <p>地域の方のなかには、農業を得意としている方も多く、広大な敷地で除草作業や仕事の授業での交流や農作業での活躍も期待される。今年度は、憩いの場を設置するために果樹木の植樹を行った。さらに、生徒との交流を深め、常時、奈良東応援団の方と生徒が敷地内で交流する場を拡大したいと考えている。</p> <p>(2) 日本文化（茶道）を体験しよう</p>

生徒が日頃経験することが難しい我が国の伝統文化である茶道を、地域の方から教えていただいた。「もてなし」や「作法」など難しい内容もあったが、どの生徒も真剣に聞き学習に取り組むことができた。

【生徒の感想】

日本文化（茶道）を体験しようでは、日頃口にしない干菓子を食べ、「おいしい」抹茶を「苦い」など食文化に触れるだけでなく、和装を着ることで、日本文化の雰囲気を感じることができ、本授業以外の生徒からも和装を着たいと意見が出され、ホームルームでも奈良東応援団の方に来ていただき体験した。

